

# 防災のしおり

自分の身は  
自分で守る

災害発生

その時、あなたがすることは？

1 災害が発生したときは、  
まず、自分と家族の安全を確保してください！

伝言サービスで安否を確認しよう

伝言の録音

1 7 1 ⇒ 1 ⇒ 0 0 0 ( 0 0 0 ) 0 0 0 0

伝言の再生

1 7 1 ⇒ 2 ⇒ 0 0 0 ( 0 0 0 ) 0 0 0 0

2 自分と家族の安全の次に、余力があれば、  
周りの人を支えてください！

- ★ 初期消火活動や近くの負傷者の救助などを、可能な範囲で協力しましょう
- ★ 避難所などでの活動に協力しましょう

## 防災・減災の心得 大雨、土砂災害

避難は  
早めに

### 大雨、土砂災害の際の避難勧告等

土砂災害への警戒が必要な状況

- 避難に時間要する人（ご高齢の方、障害のある方、乳幼児等）とその支援者は避難を開始しましょう。単独避難が困難な方は、ご近所や班長、自主防災委員等に助けを求めるましょう。
- その他の人は、避難の準備を整えましょう。

命に危険が及ぶような土砂災害がいつ発生してもおかしくない非常に危険な状況

- 速やかに避難場所へ避難をしましょう。
- 外出することでかえって命に危険が及ぶような状況では、近くの安全な場所への避難や、自宅内より安全な場所に避難をしましょう。

過去の重大な土砂災害発生時に匹敵する極めて危険な状況

- まだ避難していない人は、緊急に避難場所へ避難をしましょう。
- 外出することでかえって命に危険が及ぶような状況では、近くの安全な場所への避難や、自宅内より安全な場所に避難をしましょう。

注意報や警報だけに頼らないで！危険は自分で察知！！

避難場所は、町内会館

## 防災・減災の心得 火災

初期  
消火

- 大声で周囲に火事を知らせる
- 119番通報
- 初期消火（天井に火が達していないなら）
- 避難（天井に火が達していたら）

裾野消防署から10分くらいかかります。  
街頭消火器、消火栓を活用しましょう

## 防災・減災の心得 地震

激しい揺れは約1分間程度



まず、身を守る

クッションや座布団で頭を保護し

机やテーブルに下へ

すばやく火の始末

ガスやストーブの火を消し、電気機器の

プラグは抜く

避難路を確保

玄関、窓を開けて、避難路の確保を

1~2分

家族の安全確保

家の中で家族が転倒した家具の下敷きになっていないかなどの確認を

靴やスリッパをはく

ガラスの破片や散乱物でケガをしないように

近所と協力して、避難する

3~10分

隣近所への声掛け

ケガ人、行方不明者がいないかの確認を

危険を感じたら避難

家屋倒壊などの危険があるときはすぐに安全な経路を通って中央公園へ

避難後は支えあって行動

半日～3日

協力して、消火、救出・救援活動

周りと協力して、ケガの手当て、消火活動、ケガ人や行方不明者の救助を

倒壊した家、倒壊の恐れのある家には入らない

二次災害を防ぐため、倒壊の恐れのある家には入らない

家の倒壊

1回目の地震より、2回目の地震が危険

## 防災・減災の心得 富士山の噴火

この地区は、多量の火山灰の堆積は避けられそうです……が

慌てるな

偏西風などの影響で、この地区に多量の火山灰が堆積する危険は少ないと予測されています……がまた、火碎流に襲われることも少なそうですが……が

噴石の恐れは少なからず予測されます。

すぐに家から飛びださないヘルメットを着用しよう

## 災害への日ごろの備え

備蓄食料品

町内会では、1,000リットル程度（1世帯1リットル程度）の水しか備蓄していません。それ以上の水や食料品については、各家庭で準備しておいてください。

非常持出品

リュックサックなどに入れて、窓や玄関等の持ち出しやすいところに保管しましょう……でも、貴重品は注意して…

## 自分たちの地域を自分たちで守ろう

一般的に、災害が起きた時、行政等による救助（公助）が来るまでに72時間かかると言われています。災害時の被害を抑えるために、自分たちでできることに地域みんなで協力していきましょう。

連絡先、避難所

裾野市役所	055-995-1817	裾野赤十字病院	055-992-0008
裾野警察署	055-995-0110	東名裾野病院	055-997-0200
深良交番	055-992-0155	千福が丘小学校	055-993-8222